



▲2月15日、市PTA連合会（岡田廣志会長）の研修会が、大森公民館で開催されました。「学校と家庭・本音でトーク」と題したトークでは、活動の喜びや苦しみなどで激論が交わされる一方で、軽妙な司会で会場が沸き返るなど、和気あいの研修風景でした。



▲1月28日、市役所で市内の4中学校生徒8人が参加して、『心をつなぐ中学生のつどい』が開催されました。県人権擁護委員連合会などの主催。集いでは「心に残るありがとうの言葉」を題材に、生徒会執行部活動や体育授業における体験談などが発表されました。

▶1月二十九日、高知農業高校で「大豆の植えつけから完成品まで」を合言葉に、高ケ池中学校の三年生十二人が、自分たちで育て収穫した大豆でみそづくり挑戦しました。大豆と塩、米こうじを混ぜ合わせた作業では、自分たちのみそが市内の児童たちの給食材料として使用されるとあって大張りきり。汗だくになって頑張っていました。



▶南国地区地域安全協会などは、子どもたちに災害が起こった時の注意事項を知ってもらおうと、新岩幼稚園で1月16日、十市保育所で19日、それぞれ防災訓練を行いました。この訓練は「防災とボランティアの日」（1月17日）にちなんで行われたもので、紙人形を使った寸劇で注意を呼びかけました。



▲2月8日、田村天王寺蔵福寺で恒例の少年剣士たちの野試合が行われました。あいにく、雪が舞うほどの寒空でしたが、剣士たちは紅白に分かれ、面についた風船をねらって、所狭しと元気よく駆け回りました。



▲1月22日、久礼田の川本房子さんから教育費に当ててほしいと、100万円が寄付され、市から感謝状が贈られました。久礼田小学校長や教育次長は、「子どもたちのために大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を述べていました。



▼1月21日、十市小学校では、地区婦人会の呼びかけなどで特別授業「昔遊び体験」が行われました。地元のお年寄りや児童の祖父祖母などによる、こま回しやあや取り、お手玉などととも「竹トンボ」づくりを体験。竹がトンボとなって熱いよとびあがった途端、大歓声があがっていました。



▲2月1日、早春の風物詩「国分川の芝焼き」が行われました。国分川をきれいにする会（岡田理博会長）の主催。ことしも流域住民のほか、高知カンパ・四国電力・栄光工業などの社員や岡豊小学校児童ら、約七百五十人が参加して、国分川河川敷の清掃を行いました。作業後には七草がゆも振る舞われました。



▲文化財防火デーの1月26日、国の重要文化財に指定されている国分寺（国分）で、消防訓練が行われました。地元の自衛消防団員ら約四十人が参加した訓練は、同寺の責任役である田内徳治さんのあいさつの後、火災発生の一報から始まり、手際よく放水などが行われました。

▶節分の日の二月三日、南国署前で関係者約六十人が参加して「地域安全祈願節分まつり」が行われました。南国地区地域安全協会の主催で二回目の開催。ことしも吾国保育園児二十三人が招かれ、餅つきや人形劇、そして豆まきを楽しんだ後、交通安全の願いを込め、つき上がったお餅をドライパーに手渡しました。



▶雪がちらつくなど厳しい寒さと強い風の中、2月8日、第36回南国市駅伝大会が行われ、中学生から一般までの43チーム、258人のランナーがEごろの練習の成果を競い合いました。成績は次のとおり。

- 一般の部 ◆1位＝大藤体育会 ◆2位＝南国市役所A-C-A ◆3位＝久礼田体育会
- 高校の部 ◆1位＝高知農高 ◆2位＝高知東工高野球部A ◆3位＝同校野球部B
- 中学校の部 ◆1位＝香南中 ◆2位＝香長中A ◆3位＝香長中C
- 女子の部 ◆1位＝南国陸上クラブ ◆2位＝香長中B ◆3位＝北陵中B



▲2月2日、中央農業改良普及センターで、市で生産する野菜（シントウ・ピーマンなど）をもっと宣伝しようと、県園芸連南国支部野菜研究会女性部（野村登代香部長）が、これらの野菜を使った料理冊子作りに取り組みました。55品が掲載される冊子は4月以降に完成予定で、市農協などで無料配布されます。

▶市長が市内四中学校を訪問して、生徒代表と語り合ったドリームトーク。その仕上げとして一月二十七日、市役所に各中学校の代表八人が集まり、ドリームトーク交流会が開催されました。生徒たちからは、前回の感想や言いそびれたことなどが語られ、「南国市のことを考えるようになった」との意見が出されました。



▲大王。昭和の時代に実業家・政治家として農村解放などに功績した大石大（まさる）氏の記念碑が、地元住民により自宅跡に建立され、1月8日除幕式が行われました。